

2025 Collection Exhibition I
Form in Art Perceiving with the Hand
Nakatani Michiko
*Shadow,
Lulling the Fish to Sleep*
September 5 – December 14

小企画
美術の中のかたち—手で見る造形
中谷ミチコ
影、魚を
ねかしつける
2025年9月5日 [金]
12月14日 [日]

2025 コレクション展 I

[小企画] 美術の中のかたち—手で見る造形

中谷ミチコ 影、魚をねかしつける

2025年9月5日 [金]—12月14日 [日]

兵庫県立美術館 常設展示室 5

「美術の中のかたち—手で見る造形」は、当館の前身である県立近代美術館時代から、開催を続けているシリーズ展です。35回目となる今回は、彫刻家・中谷ミチコ(なかたに・みちこ)の作品を展示します。

中谷は、凸凹が反転したレリーフの作品で知られています。モチーフが存在するはずの空間には何もなく、何もないはずの空間にモチーフが存在するようにみえるその作品は、私たちに不思議な感覚をもたらします。

本展では、これまで視覚で楽しむものとして存在していた彫刻作品に直に触れることで、新たな鑑賞の機会を創出することをねらいとします。横幅10メートルを超える中谷の最新作の鑑賞を通して、存在の確かさと共にある不確かさに直に触れていただければと思います。

影、魚をねかしつける。

等身大で地面に生える足。

物語を手練り寄せる手。

不在に重なる影の感触。

内側を生み出す真っ白な石膏板の厚み。

私は、作品が出来ると真っ先にその内部に手を差し入れて、濡れた石膏の温度を感じながら崩壊した粘土の気配を確かめる。

表裏は入れ替わり、向こう側の景色は、埋まる。私も粘土の側に入る。

内側の形に影が張り付き、新しい気配を生み出す。影に触る。

影のために、色を捨てた。色を捨てたら、別の世界が用意されていた。

魚をねかしつける手と、あなたの手が、重なる。

中谷ミチコ

見どころ

- 横幅が 10 メートルを超える等身大のレリーフの作品を、見て触れて鑑賞できます。
- 中谷作品では初の無彩色の作品です。白い世界に浮かび上がる影をヒントに人物のかたちを探してみたり、手で触りながら見つけたり、体験的に鑑賞できます。

関連イベント

□ アーティスト・トーク

9月5日[金] 13:30-14:30 (受付は 13:00 -)

レクチャールーム+展示室、定員 30 名、当日先着順、参加無料 (別途要観覧料)

11月8日[土] 15:00-16:00 (受付は 14:30 -)

聞き手：林洋子 (当館館長)

レクチャールーム、定員80名、当日先着順、参加無料 (別途要観覧料)

□ こどものイベント

11月8日[土] 10:15-12:30 (受付は 10:00-10:15)

※詳細は当館 Web サイトにてお知らせします



作家略歴

1981年 東京都生まれ

2005年 多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業

2010年 VOCA2010 奨励賞

ドレスデン造形芸術大学卒業

2012年 文化庁新進芸術家海外研修 (ドイツ) ※2014年まで

2014年 ドレスデン造形芸術大学 マイスターシューラーstudio修了

2023年 第43回 中原悌二郎賞 受賞

現在、多摩美術大学 美術学部 彫刻学科 准教授。三重県にアトリエを構え活動中

主な個展

2009年 「Beautiful Fish」 BankART Mini (神奈川)

2011年 「境界線のありか」 横浜美術館アートギャラリー1 (神奈川)

2019年 「その小さな宇宙に立つ人」 三重県立美術館 柳原義達記念館 (三重)

2022年 「デコボコの舟 / すくう、すくう、すくう」 アートフロントギャラリー (東京)

今後の予定

瀬戸内国際芸術祭 2025 秋会期：2025年10月3日(金) - 11月9日(日)

《高見島プロジェクト「TAKAMISHIMA ART TRAIL - 高見島アートトレイル」

基本情報

- 会場 兵庫県立美術館 常設展示室 5
 会期 2025年9月5日（金）－12月14日（日）
 開館時間 10：00－18：00（入場は閉館の30分前まで）
 休館日 月曜日
 [ただし9月15日（月・祝）、10月13日（月・祝）、11月3日（月・祝）、11月24日（月・振休）は開館
 9月16日（火）、10月14日（火）、11月4日（火）、11月25日（火）は休館]
 閉室日 9月30日（火）、10月1日（水）、10月2日（木）常設展示室1～5閉室
 観覧料 下記のコレクション展の観覧料金が必要です

コレクション展 I 全室共通	当日	団体 (20名以上)	特別展との セット料金
一般	550円	400円	300円
大学生	400円	300円	200円
高校生以下	無料	無料	無料
その他割引適用料金	当日	団体 (20名以上)	特別展との セット料金
70歳以上	250円	200円	150円

※一般以外の料金には、証明できるもののご提示が必要です
 ※団体(20名以上)でご鑑賞いただく場合は事前のご連絡をお願いします

※「美術の中のかたち」展開催中は、障害者手帳等をお持ちの方とその介助の方1名は無料です

【コレクション展「無料」観覧日】

- ◆公益財団法人伊藤文化財団の協賛による無料日
第2日曜日（自由に話せる観覧日）
9月14日（日）、10月12日（日）、11月9日（日）、
12月14日（日）
- ◆9月15日（月・祝）「敬老の日」は、県内居住の
70歳以上の方は無料
- ◆11月3日（月・祝）「文化の日」は無料
- ◆11月15日（土）、11月16日（日）
「関西文化の日」は無料
- ◆12月3日（水）「国際障害者デー」は無料

- 主催 兵庫県立美術館、「瀬戸内美術館連携」プロジェクト実行委員会（事務局：公益財団法人
 福武財団）、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
 協賛 公益財団法人伊藤文化財団、サンシティタワー神戸（株式会社ハーフ・センチュリー・モア）、
 株式会社アトリエ安藤忠雄
 協力 認定NPO法人 神戸アイライト協会、点訳ボランティアグループ連絡会、株式会社アート
 フロントギャラリー



令和7年度日本博2.0事業（委託型）

- 交通案内
- ・阪神岩屋駅（兵庫県立美術館前）から徒歩約8分
 - ・JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
 - ・阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
 - ・JR三ノ宮駅から神戸市バス(29・101系統)
にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
 - ・地下駐車場（乗用車80台収容・有料）
- ※ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください



お問い合わせ

兵庫県立美術館 広報・営業担当：岩本・高村・成松
 TEL ▶ 078-262-0905（直通） FAX ▶ 078-262-0903 Email ▶ press@artm.pref.hyogo.jp

「小企画 美術の中のかたち—手で見ると造形 中谷ミチコ」広報画像申込書

e-mail : press@artm.pref.hyogo.jp FAX:078-262-0903 兵庫県立美術館 広報・営業担当宛

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、媒体情報をご記入の上、本紙を e-mail または FAX にてお送りください。なお、申込の確認に数日かかる場合がございます。あらかじめご了承ください。



【画像使用に際しての注意事項】

- 「作家名」「作品名」「制作年」「所蔵先」などを明記してください
- 作品画像の加工(着色、トリミング文字載せなど)はできません
- 基本情報、画像使用の確認のため、原稿・ゲラの段階で「広報・営業担当」までお送りくださいますようお願いいたします
- 掲載媒体を1~2部、もしくはURL、同録(DVD、CD)を「広報・営業担当」宛にお送りください
- 画像使用は本展覧会の紹介用のみとさせていただきます(会期終了まで)
- 再放送、転載など二次使用をされる場合には、改めて申請をお願いいたします

貴媒体の情報をご記入ください

媒体名(番組・雑誌名等):

媒体種: 新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・WEB
その他()

掲載・放送予定日:

参考 URL

原稿確認予定日:

※WEB掲載の場合、いずれかに○をつけてください
コピーガード対応 可 ・ 不可

読者・視聴者プレゼント用招待券: 組 名分を希望
※最大5組10名まで。本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです。

申請者の情報をご記入ください

貴社名:

所在地: 〒

ご担当者名:

メールアドレス:

電話番号:

